



家の家は

れが打ち壊してやらう。下手へ行きかゝる

が勝り 打ち壊しどうするのや。いつた誰

の家と思ふのか。 あれが

六左衛門 田舎いよつたふい。旦那さまのお

金で拵へてるんぢやあらは旦那さまのどの

ぢや。 ちい

が勝川 お前のやうお爺は國の法律といふや

つと知るめえふ 何と ありたいものぢや。法律

といふ由のよお影で おち あの家は おち 海 おち

渡しをすまてはおれの所有ぢや。 おち たう

手前たち指一つあつ建物に觸れることはで

きぬえのや。 おち

六左衛門 おち えんお馬鹿おことか、

えんお おち 理宜おに合はぬことおあるものか。旦那

さま おち 二千五百圓といふ大金を出しておいで

おさるや。この おち 盗人奴の。あれが旦那さまの

家でおく おち 誰の家を！

が勝川 まあ何とぢや、吠えるかい。國の法

律つてありたいものや。あの家 おち あつ

どおる間はおれのものや。さあ、奥さん、旦那

